

野村インド株投資

運用報告書(全体版)

第16期 (決算日2021年7月12日)

作成対象期間 (2020年7月14日～2021年7月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信/海外/株式 | |
| 信託期間 | 2005年6月22日から2030年7月11日までです。 | |
| 運用方針 | インド投資ファンド マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行います。 株式への投資にあたっては、インド企業の株式を中心に収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資します。 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、現地市場が休場等の場合や市況動向によっては、一時的に株式の実質組入比率を引き下げる場合があります。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主な投資対象 | 野村インド株投資 | インド投資ファンド マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 |
| | インド投資ファンド マザーファンド | インドの企業の株式を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 野村インド株投資 | 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | インド投資ファンド マザーファンド | 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。 | |

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配落) | 基準価額 | | | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産額 |
|-----------------|---------------|------------|---------|------------------------------------|---------|------|--------|---------|------|
| | | 税込み 分配金 | 騰落 率 | MSCIインド・インデックス (税引後配当込み・円換算ベース) | 騰落 率 | | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 | |
| 12期(2017年7月11日) | 26,558 | 500 | 45.1 | 329.97 | 35.4 | 95.3 | — | 388,452 | |
| 13期(2018年7月11日) | 26,903 | 500 | 3.2 | 336.66 | 2.0 | 99.0 | — | 487,542 | |
| 14期(2019年7月11日) | 25,251 | 500 | △4.3 | 342.13 | 1.6 | 97.3 | — | 415,393 | |
| 15期(2020年7月13日) | 21,100 | 500 | △14.5 | 300.50 | △12.2 | 95.8 | — | 264,627 | |
| 16期(2021年7月12日) | 29,850 | 500 | 43.8 | 459.81 | 53.0 | 99.5 | — | 264,516 | |

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*ベンチマーク(=MSCIインド・インデックス(税引後配当込み・円換算ベース))は、MSCI India Index(税引後配当込み・現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。設定時を100として指数化しております。
*MSCI India Index(税引後配当込み・現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所) MSCI、ブルームバーグ、為替レート(対顧客電信売買相場仲値)

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|--------------------|-------------|--------|------------------------------------|--------|------|--------|--------|
| | | 騰落率 | MSCIインド・インデックス (税引後配当込み・円換算ベース) | 騰落率 | | | |
| (期首) 2020年7月13日 | 円 21,100 | % — | 300.50 | % — | 95.8 | % — | |
| 7月末 | 21,509 | 1.9 | 309.03 | 2.8 | 91.6 | — | |
| 8月末 | 22,563 | 6.9 | 332.22 | 10.6 | 94.0 | — | |
| 9月末 | 21,897 | 3.8 | 326.13 | 8.5 | 94.8 | — | |
| 10月末 | 22,420 | 6.3 | 325.54 | 8.3 | 96.9 | — | |
| 11月末 | 23,679 | 12.2 | 350.24 | 16.6 | 96.7 | — | |
| 12月末 | 25,544 | 21.1 | 381.48 | 26.9 | 98.7 | — | |
| 2021年1月末 | 25,778 | 22.2 | 386.55 | 28.6 | 98.0 | — | |
| 2月末 | 28,311 | 34.2 | 424.45 | 41.2 | 99.3 | — | |
| 3月末 | 29,200 | 38.4 | 434.44 | 44.6 | 98.4 | — | |
| 4月末 | 28,040 | 32.9 | 427.66 | 42.3 | 97.7 | — | |
| 5月末 | 29,376 | 39.2 | 456.85 | 52.0 | 98.6 | — | |
| 6月末 | 30,100 | 42.7 | 463.94 | 54.4 | 98.5 | — | |
| (期末) 2021年7月12日 | 円 30,350 | 43.8 | 459.81 | 53.0 | 99.5 | — | |

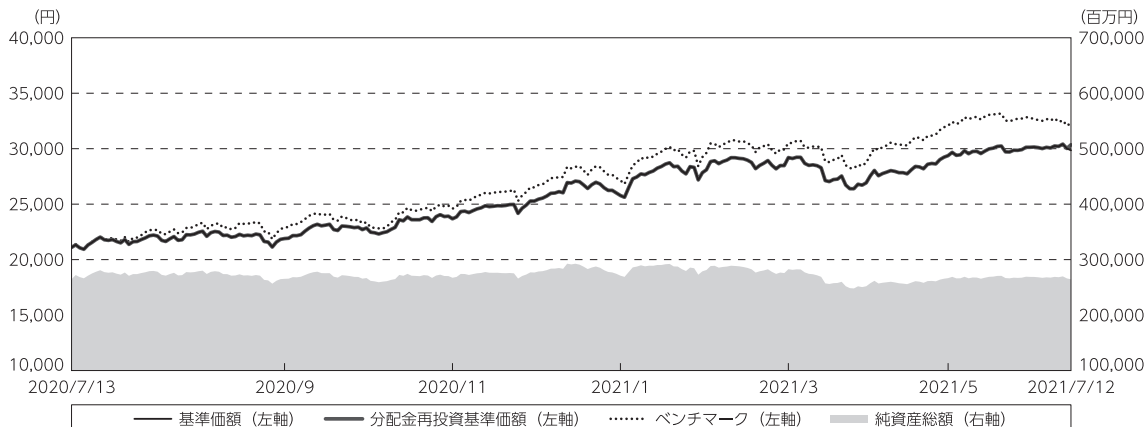
*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：21,100円

期末：29,850円（既払分配金（税込み）：500円）

騰落率：43.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年7月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCIインド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。ベンチマークは、作成期首（2020年7月13日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (横ばい) 2020年4～6月期の企業決算や、二輪車に対するGST（物品・サービス税）税率引き下げ提案、米国の金融緩和継続の姿勢などが好感されたこと、一方、欧州で再び新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）が開始されたことや海外株安などが懸念されたこと
- (上昇) 新型コロナウイルスワクチンの実用化が近いとの見方やその普及による世界的な景気回復期待などから外国人投資家の資金流入が続いたこと、主要企業の10～12月期決算発表や2021年度（2021年4月～2022年3月）の連邦予算案などが好感されたこと
- (下落) インド国内での新型コロナウイルスの感染第2波の急拡大を受けて、景気回復への悪影響が懸念されたこと
- (上昇) 市場予想を上回る2021年1～3月期の企業の決算発表や、新型コロナウイルスの感染拡大ペースの鈍化などが好感されたこと

○投資環境

インド株式市場は期初、好調な2020年4－6月期の企業決算や、米ハイテク大手企業がインドのデジタルインフラ向け巨額投資を発表したことなどを受けて上昇して始まりました。その後も、二輪車に対するGST税率引き下げ提案や米国の金融緩和継続の姿勢などが好感され上昇しましたが、欧州で再び新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンが開始されたことや海外株安などが懸念され、反落しました。10月以降は、新型コロナウイルスワクチンの普及による世界的な景気回復期待などから外国人投資家の資金流入が続いたことや、主要企業の10－12月期決算発表、2021年度の連邦予算案などが好感され、上昇基調となりました。2021年2月中旬から5月中旬にかけて、米長期金利の上昇やインド国内での新型コロナウイルスの感染第2波の急拡大などが懸念された一方、1－3月期の企業の決算などが好感され、一進一退となりました。その後は、国内の新型コロナウイルスの感染拡大ペースの鈍化や、一部の感染地域での封鎖措置の緩和などが好感され上昇し、期末にかけては米大手格付機関による国債価格下げ懸念などから上値の重い展開となりましたが、当期においてインド株式市場は上昇しました。

為替市場では、FRB（米連邦準備制度理事会）のゼロ金利政策の長期化観測などを背景に米ドル安が進行しました。2021年1月以降、バイデン米新政権による大型の追加経済対策への期待や、米国での新型コロナウイルスのワクチン接種進展による景気回復期待の高まりなどから米長期金利が上昇したことで、日米金利差が意識される中、米ドル高が進行し、当期においては米ドル高・円安となりました。一方、通貨ルピーは、外国人投資家からの資金流入などを背景に米ドル安・ルピー高となりました。2021年4月には、国内の新型コロナウイルスの感染拡大により投資家のリスク回避姿勢が強まり、資金流出への懸念から急落しましたが、その後は新規感染者数の落ち着きから持ち直しました。期末にかけては、FRBが利上げ時期の前倒しを示唆したことや、原油価格の上昇で貿易赤字が膨らんでいることなどが懸念され、ドル高・ルピー安となりました。こうした中、通貨ルピーの対円相場は期を通じてルピー高・円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[インド投資ファンド マザーファンド]

・期中の主な動き

- (1) インド経済の回復による資金需要増大の恩恵を受け、不良債権比率の低い優良な民間銀行株を中心に金融セクターのオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資比率）を維持しました。一方、比較的景気動向に左右されにくいとされる生活必需品セクターはアンダーウェイト（ベンチマークより低い投資比率）に引き下げました。
- (2) 主力の石油精製事業から小売りや通信関連などの新事業に軸足を移しつつあるエネルギー株のアンダーウェイト幅を縮小しました。
- (3) デジタル化需要の堅調な増加を背景に急成長が期待されるIT（情報技術）セクターの投資比率を引き上げました。

・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

[野村インド株投資]

・組入比率

主要投資対象である「インド投資ファンド マザーファンド」受益証券を、期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当期は、ベンチマーク（MSCI インド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース））が53.0%の上昇となったのに対して、基準価額は43.8%の上昇となりました。

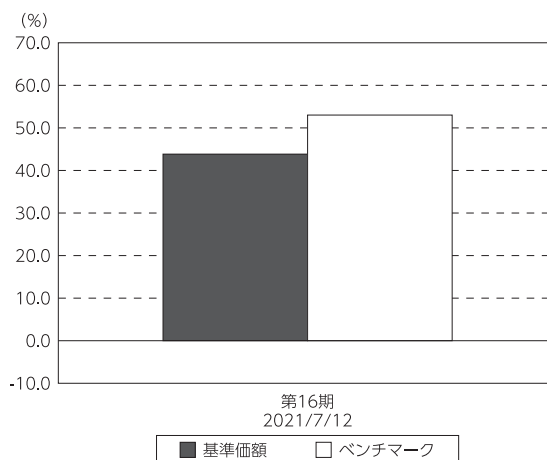
（主なプラス要因）

- ①主要部門であるエネルギー事業以外にも小売りや通信関連など多角化が進み、各事業への経営資源の配分が見えにくかったことからアンダーウェイトとしていたエネルギー株の株価騰落率がベンチマークを下回ったこと
- ②新型コロナウイルス感染拡大の影響でデジタル化の需要が高まることが予想されたことからオーバーウェイトとしていたソフトウェア・サービス株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと

（主なマイナス要因）

- ①通信業界の再編で収益改善が期待されたことからオーバーウェイトとしていた電気通信サービス株の株価騰落率がベンチマークを下回ったこと
- ②国際商品市況の影響を受けやすいことからアンダーウェイトとしていた素材株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCIインド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

◎分配金

今期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり500円とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第16期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2020年7月14日～ 2021年7月12日 |
| 当期分配金 | 500 |
| (対基準価額比率) | 1.647% |
| 当期の収益 | 500 |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 19,850 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[インド投資ファンド マザーファンド]

・投資環境

インドにおける新型コロナウイルスの1日当たり新規感染者数は5月上旬に峠を越えたと見られ、感染地域の封鎖解除が進んでいることから、インド経済は再び経済正常化の動きを強めていくと見ています。6月の製造業PMI（購買担当者景気指数）は48.1、サービス業PMIは41.2と前月より大幅な低下となりましたが、これは新型コロナウイルスの感染第2波の拡大により感染地域で行動制限が導入されていたことによるもので、一時的な落ち込みと見ています。一方、5月のCPI（消費者物価指数）は前年同月比+6.3%となり、RBI（インド準備銀行）が定めるインフレ目標範囲（前年比+2～6%）を上回りました。5月は新型コロナウイルスの封鎖措置のピークにあたり、食料品価格が全般的に上昇したほか、燃料価格やコア・インフレ率（食料・燃料を除くCPI）も加速しています。今後、こうした封鎖措置の緩和で、価格上昇がどれだけ落ち着きを取り戻すか、注視が必要と見ています。RBIは2021年度（2021年4月～2022年3月）の実質GDP（国内総生産）成長率見通しを1.0%引き下げ前年比+9.5%としましたが、新型コロナウイルスの感染第2波の影響は4～6月期に限定されるとの見方を示しており、ワクチン接種の加速、金融緩和の継続、モディ政権の積極的な財政出動などから、インド経済のV字回復の流れが大きく変わることはないと見ています。

・投資方針

- ①投資候補の選択にあたっては、利益成長の確度が高く、バリュエーション（投資価値評価）が割安な銘柄を中心に組み入れていく方針です。
- ②ファンドでは、新型コロナウイルスの感染収束に伴うインド経済のV字回復や低金利の恩恵を受ける業種や銘柄に注目します。景気回復に伴う資金需要の増大をとらえて、不良債権比率が相対的に低く、マネジメントが優れた優良な民間銀行は収益成長が期待されることから、高めの投資比率を維持する方針です。低金利の恩恵に加え、不動産の開発・販売規制に関する法律や税制度の改革などにより、住宅・不動産市場の回復が期待される不動産セクターにも注目しています。また、新型コロナウイルス禍でDX（デジタルトランスフォーメーション、事業環境の変化に対応するためにITシステムやデータを活用してサービスやビジネスモデルを変革する取り組み）投資拡大の恩恵を受けると見られるITセクターも高めの投資比率とする方針です。

[野村インド株投資]

[インド投資ファンド マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行ないます。実質組入外貨建資産については、引き続き、為替ヘッジを行なわない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年7月14日～2021年7月12日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|---------|---------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 564 | 2.194 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (268) | (1.042) | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 |
| （ 販 売 会 社 ） | (268) | (1.042) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 |
| （ 受 託 会 社 ） | (28) | (0.110) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 18 | 0.071 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （ 株 式 ） | (18) | (0.069) | |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (1) | (0.002) | |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 22 | 0.087 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （ 株 式 ） | (21) | (0.083) | |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (1) | (0.003) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 1,168 | 4.545 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | (5) | (0.021) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | (1) | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ そ の 他 ） | (1,162) | (4.521) | 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 1,772 | 6.897 | |
| 期中の平均基準価額は、25,701円です。 | | | |

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

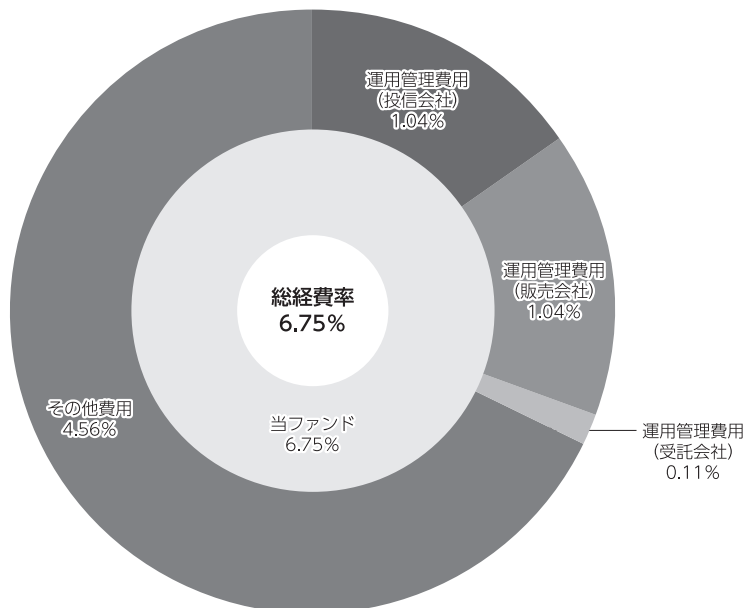
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は6.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年7月14日～2021年7月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|-------------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| インド投資ファンド マザーファンド | 千口 1,586,288 | 千円 7,170,232 | 千口 21,381,530 | 千円 112,459,821 |

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年7月14日～2021年7月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------------|-------------------|--|
| | インド投資ファンド マザーファンド | |
| (a) 期中の株式売買金額 | 244,721,797千円 | |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 263,361,417千円 | |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.92 | |

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年7月14日～2021年7月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年7月12日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|-------------------|------------------|------------------|-------------------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| インド投資ファンド マザーファンド | 千口 61,944,065 | 千口 42,148,823 | 千円 263,990,724 |

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年7月12日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------|-------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| インド投資ファンド マザーファンド | 263,990,724 | 96.7 |
| コール・ローン等、その他 | 8,919,799 | 3.3 |
| 投資信託財産総額 | 272,910,523 | 100.0 |

*金額の単位未満は切り捨て。

*インド投資ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（260,955,910千円）の投資信託財産総額（279,831,043千円）に対する比率は93.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1インドルピー=1.49円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年7月12日現在)

○損益の状況 (2020年7月14日～2021年7月12日)

| 項 目 | 当 期 末 |
|------------------------|-----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 272,910,523,388 |
| コール・ローン等 | 8,064,607,808 |
| インド投資ファンド マザーファンド(評価額) | 263,990,724,041 |
| 未収入金 | 855,191,539 |
| (B) 負債 | 8,394,333,886 |
| 未払収益分配金 | 4,430,716,313 |
| 未払解約金 | 981,173,788 |
| 未払信託報酬 | 2,977,971,276 |
| 未払利息 | 5,612 |
| その他未払費用 | 4,466,897 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 264,516,189,502 |
| 元本 | 88,614,326,277 |
| 次期繰越損益金 | 175,901,863,225 |
| (D) 受益権総口数 | 88,614,326,277口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 29,850円 |

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|--------------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 501,661 |
| 受取利息 | 217 |
| 支払利息 | △ 501,878 |
| (B) 有価証券売買損益 | 86,412,105,791 |
| 売買益 | 103,638,825,063 |
| 売買損 | △ 17,226,719,272 |
| (C) 信託報酬等 | △ 5,994,944,540 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 80,416,659,590 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 23,251,106,347 |
| (F) 追加信託差損益金 | 123,167,026,295 |
| (配当等相当額) | (114,398,319,804) |
| (売買損益相当額) | (8,768,706,491) |
| (G) 計(D+E+F) | 180,332,579,538 |
| (H) 収益分配金 | △ 4,430,716,313 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 175,901,863,225 |
| 追加信託差損益金 | 123,167,026,295 |
| (配当等相当額) | (114,430,893,790) |
| (売買損益相当額) | (8,736,132,505) |
| 分配準備積立金 | 52,734,836,930 |

(注) 期首元本額は125,414,495,519円、期中追加設定元本額は6,988,252,141円、期中一部解約元本額は43,788,421,383円、1口当たり純資産額は2,9850円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,086,196,850円。(インド投資ファンド マザーファンド)

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年7月14日～2021年7月12日)は以下の通りです。

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------------|---------------------------|
| | 2020年7月14日～ 2021年7月12日 |
| a. 配当等収益(経費控除後) | 2,335,416,306円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 42,278,497,851円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 123,167,026,295円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 12,551,639,086円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 180,332,579,538円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 20,350円 |
| g. 分配金 | 4,430,716,313円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 500円 |

○分配金のお知らせ

| | |
|----------------|------|
| 1万口当たり分配金(税込み) | 500円 |
|----------------|------|

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

インド投資ファンド マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日2021年7月12日）

作成対象期間（2020年7月14日～2021年7月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。 株式への投資にあたっては、インド企業の株式を中心に収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資します。 株式の組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、現地市場が休場等の場合や市況動向によっては、一時的に組入比率を引き下げる場合があります。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 |
| 主な投資対象 | インドの企業の株式を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 |

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | ベンチマーク | | 株式先物比率 | 純資産額 |
|-----------------|--------|--------|-------|--------|---------|
| | | 騰落率 | 騰落率 | | |
| | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 12期(2017年7月11日) | 47,481 | 48.5 | 35.4 | 95.4 | 387,711 |
| 13期(2018年7月11日) | 50,025 | 5.4 | 2.0 | 99.2 | 486,568 |
| 14期(2019年7月11日) | 48,862 | △2.3 | 1.6 | 97.5 | 414,565 |
| 15期(2020年7月13日) | 42,635 | △12.7 | △12.2 | 96.0 | 264,098 |
| 16期(2021年7月12日) | 62,633 | 46.9 | 53.0 | 99.7 | 263,992 |

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*ベンチマーク(=MSCIインド・インデックス(税引後配当込み・円換算ベース))は、MSCI India Index(税引後配当込み・現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。
 *MSCI India Index(税引後配当込み・現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所) MSCI、ブルームバーグ、為替レート(対顧客電信売買相場仲値)

○当期中の基準価額と市況等の推移

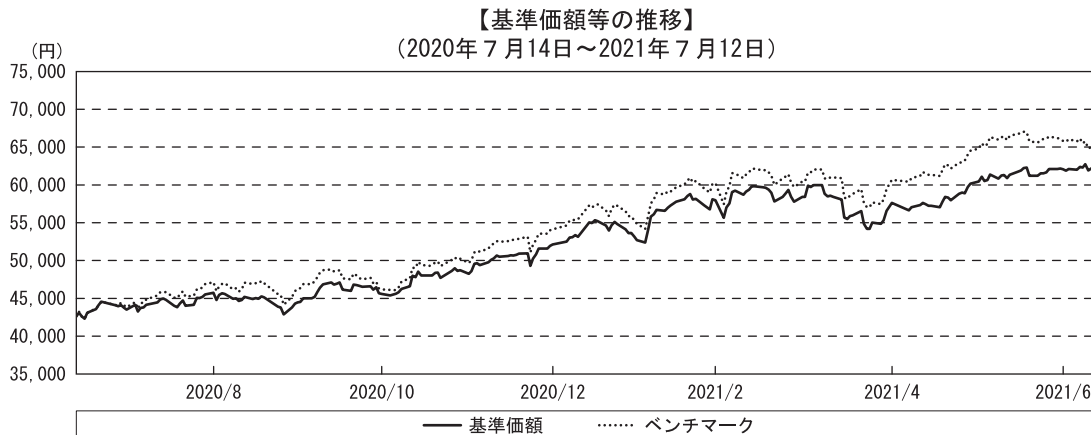
| 年月日 | 基準価額 | ベンチマーク | | 株式先物比率 |
|------------|--------|--------|------|--------|
| | | 騰落率 | 騰落率 | |
| (期首) | 円 | % | % | % |
| 2020年7月13日 | 42,635 | — | — | 96.0 |
| 7月末 | 43,516 | 2.1 | 2.8 | 91.8 |
| 8月末 | 45,733 | 7.3 | 10.6 | 94.1 |
| 9月末 | 44,455 | 4.3 | 8.5 | 95.0 |
| 10月末 | 45,592 | 6.9 | 8.3 | 97.1 |
| 11月末 | 48,241 | 13.1 | 16.6 | 96.9 |
| 12月末 | 52,134 | 22.3 | 26.9 | 98.9 |
| 2021年1月末 | 52,696 | 23.6 | 28.6 | 98.2 |
| 2月末 | 57,969 | 36.0 | 41.2 | 99.5 |
| 3月末 | 59,902 | 40.5 | 44.6 | 98.6 |
| 4月末 | 57,611 | 35.1 | 42.3 | 97.9 |
| 5月末 | 60,465 | 41.8 | 52.0 | 98.8 |
| 6月末 | 62,060 | 45.6 | 54.4 | 98.7 |
| (期末) | | | | |
| 2021年7月12日 | 62,633 | 46.9 | 53.0 | 99.7 |

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、MSCIインド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首42,635円から期末62,633円となりました。

- (横ばい) 2020年4－6月期の企業決算や、二輪車に対するGST（物品・サービス税）税率引き下げ提案、米国の金融緩和継続の姿勢などが好感されたこと、一方、欧州で再び新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）が開始されたことや海外株安などが懸念されたこと
- (上昇) 新型コロナウイルスワクチンの実用化が近いとの見方やその普及による世界的な景気回復期待などから外国人投資家の資金流入が続いたこと、主要企業の10－12月期決算発表や2021年度（2021年4月～2022年3月）の連邦予算案などが好感されたこと
- (下落) インド国内での新型コロナウイルスの感染第2波の急拡大を受けて、景気回復への悪影響が懸念されたこと
- (上昇) 市場予想を上回る2021年1－3月期の企業の決算発表や、新型コロナウイルスの感染拡大ペースの鈍化などが好感されたこと

○当ファンドのポートフォリオ

○期中の主な動き

- (1) インド経済の回復による資金需要増大の恩恵を受け、不良債権比率の低い優良な民間銀行株を中心に金融セクターのオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資比率）を維持しました。一方、比較的景気動向に左右されにくいとされる生活必需品セクターはアンダーウェイト（ベンチマークより低い投資比率）に引き下げました。
- (2) 主力の石油精製事業から小売りや通信関連などの新事業に軸足を移しつつあるエネルギー株のアンダーウェイト幅を縮小しました。
- (3) デジタル化需要の堅調な増加を背景に急成長が期待されるIT（情報技術）セクターの投資比率を引き上げました。

○為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

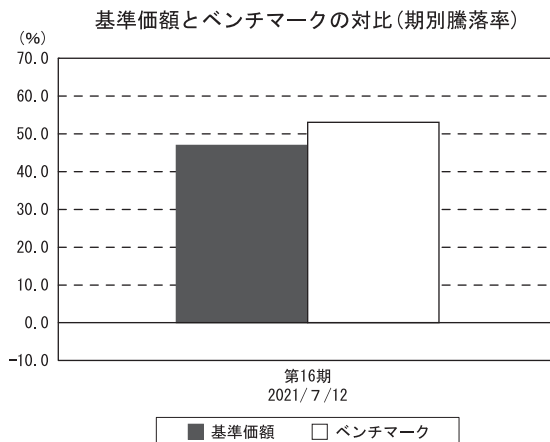
当期は、ベンチマーク（MSCI インド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース））が53.0%の上昇となったのに対して、基準価額は46.9%の上昇となりました。

（主なプラス要因）

- ①主要部門であるエネルギー事業以外にも小売りや通信関連など多角化が進み、各事業への経営資源の配分が見えにくかったことからアンダーウェイトとしていたエネルギー株の株価騰落率がベンチマークを下回ったこと
- ②新型コロナウイルス感染拡大の影響でデジタル化の需要が高まることから予想されたことからオーバーウェイトとしていたソフトウェア・サービス株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと

（主なマイナス要因）

- ①通信業界の再編で収益改善が期待されたことからオーバーウェイトとしていた電気通信サービス株の株価騰落率がベンチマークを下回ったこと
- ②国際商品市況の影響を受けやすいことからアンダーウェイトとしていた素材株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと



（注）ベンチマークは、MSCIインド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

○投資環境

インドにおける新型コロナウイルスの1日当たり新規感染者数は5月上旬に峠を越えたと見られ、感染地域の封鎖解除が進んでいることから、インド経済は再び経済正常化の動きを強めていくと見ています。6月の製造業PMI（購買担当者景気指数）は48.1、サービス業PMIは41.2と前月より大幅な低下となりましたが、これは新型コロナウイルスの感染第2波の拡大により感染地域で行動制限が導入されていたことによるもので、一時的な落ち込みと見ています。一方、5月のCPI（消費者物価指数）は前年同月比+6.3%となり、RBI（インド準備銀行）が定めるインフレ目標範囲（前年比+2～6%）を上回りました。5月は新型コロナウイルスの封鎖措置のピークにあたり、食料品価格が全般的に上昇したほか、燃料価格やコア・インフレ率（食料・燃料を除くCPI）も加速しています。今後、こうした封鎖措置の緩和で、価格上昇がどれだけ落ち着きを取り戻すか、注視が必要と見ています。RBIは2021年度（2021年4月～2022年3月）の実質GDP（国内総生産）成長率見通しを1.0%引き下げ前年比+9.5%としましたが、新型コロナウイルスの感染第2波の影響は4～6月期に限定されるとの見方を示しており、ワクチン接種の加速、金融緩和の継続、モディ政権の積極的な財政出動などから、インド経済のV字回復の流れが大きく変わることはないと考えています。

○投資方針

- ①投資候補の選択にあたっては、利益成長の確度が高く、バリュエーション（投資価値評価）が割安な銘柄を中心に組み入れていく方針です。
- ②ファンドでは、新型コロナウイルスの感染収束に伴うインド経済のV字回復や低金利の恩恵を受ける業種や銘柄に注目します。景気回復に伴う資金需要の増大をとらえて、不良債権比率が相対的に低く、マネジメントが優れた優良な民間銀行は収益成長が期待されることから、高めの投資比率を維持する方針です。低金利の恩恵に加え、不動産の開発・販売規制に関する法律や税制度の改革などにより、住宅・不動産市場の回復が期待される不動産セクターにも注目しています。また、新型コロナウイルス禍でDX（デジタルトランスフォーメーション、事業環境の変化に対応するためにITシステムやデータを活用してサービスやビジネスモデルを変革する取り組み）投資拡大の恩恵を受けると見られるITセクターも高めの投資比率とする方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年7月14日～2021年7月12日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---|----------------------------|----------------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券) | 円 37 (36) (1) | % 0.071 (0.069) (0.002) | (a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券) | 46 (44) (2) | 0.087 (0.083) (0.003) | (b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 2,387 (11) (2,376) | 4.544 (0.021) (4.523) | (c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 2,470 | 4.702 | |
| 期中の平均基準価額は、52,531円です。 | | | |

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2020年7月14日～2021年7月12日)

株式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|-----|---------------|-----------------------|-----------------|------------------------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 外 国 | インド | 百株 800,301 | 千インドルピー 47,643,655 | 百株 1,748,144 | 千インドルピー 120,128,640 |

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

投資信託証券

| 銘柄 | | 買付 | | 売付 | |
|----|-------------------------------|--------------------|-------------------------|------------|-----------|
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 外国 | インド | 口 | 千インドルピー | 口 | 千インドルピー |
| | EMBASSY OFFICE PARKS REIT | — | — | 6,342,800 | 2,355,400 |
| | MINDSPACE BUSINESS PARKS REIT | (—) | (△ 14,461) | 6,763,200 | 2,135,182 |
| | 小計 | 6,763,200 (—) | 2,048,965 (△ 14,461) | 13,106,000 | 4,490,582 |

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

*()内は分割、合併、有償増資などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○株式売買比率

(2020年7月14日～2021年7月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当 期 |
|---------------------|---------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 244,721,797千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 263,361,417千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.92 |

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年7月14日～2021年7月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年7月12日現在)

外国株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | | 業 種 等 | |
|---|---------|---------|------------|------------|-------------------------|-------------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 | | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| (インド) | 百株 | 百株 | 千インドルピー | 千円 | | |
| RELIANCE INDUSTRIES LIMITED | 74,823 | 72,323 | 14,979,647 | 22,319,674 | 石油・ガス・消耗燃料 | |
| TATA STEEL LIMITED | — | 45,804 | 5,676,719 | 8,458,312 | 金属・鉱業 | |
| NESTLE INDIA LIMITED | 1,499 | 1,172 | 2,068,208 | 3,081,631 | 食品 | |
| KOTAK MAHINDRA BANK LTD | 27,947 | — | — | — | 銀行 | |
| COLGATE-PALMOLIVE (INDIA) | 10,353 | — | — | — | パーソナル用品 | |
| MPHASIS LTD | — | 19,443 | 4,334,503 | 6,458,410 | 情報技術サービス | |
| HOUSING DEVELOPMENT FINANCE | 55,586 | 40,418 | 10,090,271 | 15,034,504 | 貯蓄・抵当・不動産金融 | |
| INFOSYS LTD | 192,710 | 104,193 | 16,284,452 | 24,263,833 | 情報技術サービス | |
| HINDUSTAN UNILEVER LIMITED | 53,007 | 21,933 | 5,376,770 | 8,011,387 | 家庭用品 | |
| HCL TECHNOLOGIES LTD | 186,849 | 94,522 | 9,233,469 | 13,757,869 | 情報技術サービス | |
| DR. REDDYS LABORATORIES | 6,562 | 5,009 | 2,735,582 | 4,076,018 | 医薬品 | |
| BHARTI AIRTEL LIMITED | 256,036 | 20,000 | 1,072,500 | 1,598,025 | 無線通信サービス | |
| MARUTI SUZUKI INDIA LTD | 13,655 | 9,561 | 7,100,127 | 10,579,190 | 自動車 | |
| CITPLA LIMITED | — | 17,911 | 1,719,102 | 2,561,462 | 医薬品 | |
| ULTRATECH CEMENT LTD | 10,514 | 10,014 | 6,909,575 | 10,295,266 | 建設資材 | |
| COFORGE LIMITED | — | 4,000 | 1,742,620 | 2,596,503 | 情報技術サービス | |
| AMBUJA CEMENTS LTD | 105,724 | 118,116 | 4,294,720 | 6,399,133 | 建設資材 | |
| ITC LTD | 392,443 | — | — | — | タバコ | |
| DLF LIMITED | — | 105,087 | 3,156,291 | 4,702,873 | 不動産管理・開発 | |
| MUTHOOT FINANCE LTD | — | 20,546 | 3,153,124 | 4,698,155 | 消費者金融 | |
| AAVAS FINANCIERS LTD | 7,233 | 16,231 | 4,700,993 | 7,004,479 | 貯蓄・抵当・不動産金融 | |
| BAJAJ FINANCE LTD | 8,031 | — | — | — | 消費者金融 | |
| LARSEN & TOUBRO INFOTECH LTD | — | 4,320 | 1,751,371 | 2,609,543 | 情報技術サービス | |
| HDFC LIFE INSURANCE CO LTD | 106,629 | 16,537 | 1,129,931 | 1,683,597 | 保険 | |
| AU SMALL FINANCE BANK LTD | 84,282 | 86,907 | 10,382,812 | 15,470,390 | 銀行 | |
| BANDHAN BANK LTD | 104,850 | — | — | — | 銀行 | |
| GODREJ PROPERTIES LTD | 36,591 | 16,780 | 2,484,288 | 3,701,589 | 不動産管理・開発 | |
| BRITANNIA INDUSTRIES LTD | 6,178 | — | — | — | 食品 | |
| AFFLE INDIA LTD | — | 4,423 | 1,933,873 | 2,881,471 | メディア | |
| HDFC BANK LIMITED | 186,825 | 91,382 | 13,725,648 | 20,451,216 | 銀行 | |
| ANUPAM RASAYAN INDIA LTD | — | 10,796 | 877,129 | 1,306,923 | 化学 | |
| KRISHNA INSTITUTE OF MEDICAL | — | 17,974 | 2,017,400 | 3,005,926 | ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス | |
| MACROTECH DEVELOPERS LTD | — | 35,618 | 2,752,095 | 4,100,622 | 不動産管理・開発 | |
| INDIGO PAINTS LTD | — | 6,261 | 1,577,326 | 2,350,216 | 化学 | |
| GLAND PHARMA LTD | — | 3,535 | 1,285,131 | 1,914,846 | 医薬品 | |
| SONA BLW PRECISION FORGINGS | — | 50,171 | 2,118,502 | 3,156,568 | 自動車部品 | |
| AXIS BANK LIMITED | — | 86,236 | 6,444,884 | 9,602,878 | 銀行 | |
| ICICI BANK LTD | 339,510 | 236,709 | 15,115,066 | 22,521,449 | 銀行 | |
| TECH MAHINDRA LTD | — | 17,360 | 1,825,860 | 2,720,531 | 情報技術サービス | |
| AVENUE SUPERMARTS LTD | 5,885 | — | — | — | 食品・生活必需品小売り | |
| ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE COMPANY | 30,243 | 18,567 | 2,912,549 | 4,339,699 | 保険 | |
| ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURANCE CO LTD | 70,751 | — | — | — | 保険 | |
| ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD | 26,083 | 23,093 | 3,724,744 | 5,549,868 | 自動車部品 | |
| 合 計 | 株 数 | 金 額 | 2,400,811 | 1,452,968 | 176,687,298 | 263,264,074 |
| | 銘柄 数 | < 比率 > | 27 | 35 | — | < 99.7% > |

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

2021年7月12日現在の組入れはございません。

| 銘柄 | 期首(前期末) |
|------------------------------------|-----------------|
| | |
| (インド) EMBASSY OFFICE PARKS REIT | 口 6,342,800 |
| 合計 | 口数 6,342,800 |
| | 口数 1 |

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2021年7月12日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|-------------------|-----------|
| | 評価額 | 比率 |
| 株式 | 千円 263,264,074 | % 94.1 |
| コール・ローン等、その他 | 16,566,969 | 5.9 |
| 投資信託財産総額 | 279,831,043 | 100.0 |

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（260,955,910千円）の投資信託財産総額（279,831,043千円）に対する比率は93.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1インドルピー=1.49円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年7月12日現在)

| 項 目 | 当 期 末 円 |
|-----------------|-----------------|
| (A) 資産 | 279,831,043,189 |
| コール・ローン等 | 13,717,247,995 |
| 株式(評価額) | 263,264,074,366 |
| 未収入金 | 2,406,203,854 |
| 未収配当金 | 443,516,974 |
| (B) 負債 | 15,838,731,078 |
| 未払金 | 2,175,397,342 |
| 未払解約金 | 855,191,539 |
| 未払利息 | 2,708 |
| 外国税引当金 | 12,808,139,489 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 263,992,312,111 |
| 元本 | 42,148,823,151 |
| 次期繰越損益金 | 221,843,488,960 |
| (D) 受益権総口数 | 42,148,823,151口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 62,633円 |

(注) 期首元本額は61,944,065,203円、期中追加設定元本額は1,586,288,786円、期中一部解約元本額は21,381,530,838円、1口当たり純資産額は6,2633円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・野村インド株投資 42,148,823,151円

(注) 外国税引当金は将来発生する可能性のあるキャピタルゲイン税の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。

○損益の状況 (2020年7月14日～2021年7月12日)

| 項 目 | 当 期 円 |
|------------------|------------------|
| (A) 配当等収益 | 2,545,119,258 |
| 受取配当金 | 2,072,949,436 |
| 受取利息 | 1,279 |
| その他収益金 | 473,714,416 |
| 支払利息 | △ 1,545,873 |
| (B) 有価証券売買損益 | 115,534,422,769 |
| 売買益 | 119,998,490,072 |
| 売買損 | △ 4,464,067,303 |
| (C) 保管費用等 | △ 12,895,988,567 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 105,183,553,460 |
| (E) 前期繰越損益金 | 202,154,282,843 |
| (F) 追加信託差損益金 | 5,583,943,322 |
| (G) 解約差損益金 | △ 91,078,290,665 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 221,843,488,960 |
| 次期繰越損益金(H) | 221,843,488,960 |

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。